



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月27日

上場会社名 モーニングスター
コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 2021年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,987	10.0	506	17.7	613	19.6	413	21.2
2021年3月期第1四半期	1,806	4.4	430	8.7	513	13.9	340	15.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 392百万円 (20.0%) 2021年3月期第1四半期 491百万円 (68.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2022年3月期第1四半期	4.61	
2021年3月期第1四半期	4.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2022年3月期第1四半期	13,648	12,029	84.8	130.27
2021年3月期	14,189	12,358	84.6	133.95

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 11,577百万円 2021年3月期 12,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2021年3月期		7.50		8.50	16.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項の(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	89,673,600 株	2021年3月期	89,673,600 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	170 株	2021年3月期	170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	89,673,430 株	2021年3月期1Q	82,892,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2022年3月期の配当予想)

2022年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年7月27日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)の連結業績は、ファイナンシャル・サービス事業におきましては、新型コロナウイルス感染症により対面での資産運用などのセミナーが開催できない状況が続き、そのため投資信託の運用会社・販売会社のファンドのプロモーションが抑制され、セミナーと広告の売上が減少しました。一方、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の進展により、金融機関が活用するオンライン上のコンテンツやアプリケーションなどは引き続き旺盛な需要であり、当社の提供するタブレットアプリやスマートフォン向けコンテンツの売上も、継続して拡大しました。ただ、一括で納品するシステム開発に係わる売上の減少と、株式新聞紙面の休刊に伴う売上減少の結果、当第1四半期連結累計期間のファイナンシャル・サービス事業の売上高は、前年同四半期(2020年4月1日～2020年6月30日)より122百万円(△18.1%)の減収となりました。

アセットマネジメント事業におきましては、公募のインデックスファンドの運用残高の拡大に伴う信託報酬が増加したことに加え、地域金融機関の有価証券運用の高度化を支援する私募投資信託の運用残高の大幅な拡大に伴う信託報酬の増加により、売上高は前年同四半期より303百万円(26.9%)の増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)の連結業績は、売上高が前年同四半期(2020年4月1日～2020年6月30日)の1,806百万円から180百万円(10.0%)の増収となる1,987百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の841百万円から77百万円(9.2%)増加し919百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の534百万円から26百万円(5.0%)増加し561百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の430百万円から76百万円(17.7%)の増益となる506百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期に比べて、24百万円増加し、その結果、当第1四半期の連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の513百万円から100百万円(19.6%)の増益となる613百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の340百万円から72百万円(21.2%)の増益となる413百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第1四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年6月30日まで		当第1四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年6月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	530,101	29.3	422,344	21.3	△20.3
メディア・ソリューション	147,654	8.2	132,591	6.7	△10.2
計	677,756	37.5	554,936	27.9	△18.1
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	1,129,241	62.5	1,432,481	72.1	26.9
計	1,129,241	62.5	1,432,481	72.1	26.9
連結売上高	1,806,997	100.00	1,987,417	100.0	10.0

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期の92,217台から105,792台と、13,575台増加したことにより、タブレットアプリによるファンドデータの売上が増加いたしました。また、コロナ禍で金融機関がDX関連のシステムの活用に積極的となり、スマートフォン向けコンテンツの売上も増加しました。

日刊株式新聞におきましては、WEB版の売上は増加したものの、紙媒体を2021年3月31日をもって休刊したことにより、株式新聞購読料の売上が減少しました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の530百万円から107百万円(△20.3%)の減収となる422百万円となりました。

- ・メディア・ソリューション

新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令により、当初予定しておりました対面での資産運用セミナーが開催できない状況となり、それに係わる投資信託の運用会社・販売会社のファンドのプロモーションが抑制され、セミナーと広告の売上が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の147百万円から15百万円（△10.2%）の減収となる132百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の677百万円から122百万円（△18.1%）の減収となる554百万円となりました

2) アセットマネジメント事業

- ・アセットマネジメント

アセットマネジメント事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、SBIアセットマネジメントが提供する公募のインデックスファンドの運用残高の拡大に加え、地域金融機関の有価証券運用を支援するSBIボンド・インベストメント・マネジメントおよびSBI地方創生アセットマネジメントの私募の投資信託の運用残高が増加し、売上高は前年同四半期の1,129百万円から303百万円（26.9%）の増収となる1,432百万円となりました。

セグメント別の利益につきましては、ファイナンシャル・サービス事業の利益は、前年同四半期の218百万円から67百万円（△30.8%）の減益となる151百万円となりました。

また、アセットマネジメント事業の利益は、前年同四半期の212百万円から143百万円（67.5%）の増益となる355百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産合計は前連結会計年度末と比較して541百万円減少し、13,648百万円となりました。

これは、流動資産が468百万円減少し、固定資産が70百万円減少し、繰延資産が2百万円減少したことによるものです。流動資産の減少は、主として現金及び預金が715百万円減少したことによるものです。

現金及び預金の減少は、主として、配当金を762百万円支払ったことによるものです。

固定資産の減少は、主としてのれんとソフトウェアの償却による減少によるものです。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して211百万円減少し、1,619百万円となりました。

負債の減少は、主として、未払法人税等が277百万円減少したことによるものです。

未払法人税等の減少は、法人税の支払いのタイミングによるものです。

当第1四半期連結累計期間に413百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、762百万円の配当を行った結果、利益剰余金が349百万円減少し、4,115百万円となりました。

その他有価証券評価差額金は、保有する投資有価証券の時価の下落により59百万円減少し、アセットマネジメント子会社の四半期純利益の増加により、非支配株主持分が103百万円増加しました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して329百万円減少し、12,029百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場の動向を想定するのは難しく、当社グループの業績を合理的な算定で行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,904,634	4,189,466
売掛金	1,306,261	1,541,333
棚卸資産	※1 1,252	※1 1,481
その他	201,592	213,057
流動資産合計	6,413,742	5,945,339
固定資産		
有形固定資産	※2 242,025	※2 232,658
無形固定資産		
のれん	1,892,815	1,781,370
ソフトウェア	1,294,494	1,240,009
その他	304,295	365,768
無形固定資産合計	3,491,605	3,387,148
投資その他の資産		
投資有価証券	3,585,678	3,556,317
繰延税金資産	223,214	297,171
その他	209,851	208,350
投資その他の資産合計	4,018,745	4,061,839
固定資産合計	7,752,376	7,681,646
繰延資産		
株式交付費	23,732	21,507
繰延資産合計	23,732	21,507
資産合計	14,189,850	13,648,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,838	53,360
未払金	798,850	808,744
リース債務	128,059	139,030
未払法人税等	457,220	179,267
未払消費税等	93,566	81,007
その他	254,586	348,185
流動負債合計	1,795,121	1,609,593
固定負債		
長期リース債務	35,798	9,643
固定負債合計	35,798	9,643
負債合計	1,830,919	1,619,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,363,635
資本剰余金	4,906,035	4,906,035
利益剰余金	4,464,870	4,115,677
自己株式	△29	△29
株主資本合計	12,734,512	12,385,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△627,728	△686,736
為替換算調整勘定	△95,418	△120,786
その他の包括利益累計額合計	△723,146	△807,523
非支配株主持分	347,566	451,462
純資産合計	12,358,931	12,029,257
負債純資産合計	14,189,850	13,648,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,806,997	1,987,417
売上原価	841,325	919,144
売上総利益	965,672	1,068,272
販売費及び一般管理費	※ 534,832	※ 561,349
営業利益	430,840	506,922
営業外収益		
受取利息	37,150	78,344
受取配当金	40,290	30,066
持分法による投資利益	10,055	-
その他	2,838	1,028
営業外収益合計	90,334	109,438
営業外費用		
支払利息	6,835	-
為替差損	1,205	53
株式交付費償却	-	2,224
その他	0	273
営業外費用合計	8,041	2,552
経常利益	513,133	613,809
特別損失		
投資有価証券売却損	-	4,035
特別損失合計	-	4,035
税金等調整前四半期純利益	513,133	609,773
法人税、住民税及び事業税	123,345	104,896
法人税等調整額	15,318	17,907
法人税等合計	138,664	122,804
四半期純利益	374,469	486,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,656	73,938
親会社株主に帰属する四半期純利益	340,812	413,031

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	374,469	486,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123,513	△59,008
為替換算調整勘定	△4,627	△35,024
繰延ヘッジ損益	△2,236	-
その他の包括利益合計	116,648	△94,032
四半期包括利益	491,118	392,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,183	328,654
非支配株主に係る四半期包括利益	33,935	64,283

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(持分法の適用範囲の変更)

PT.Bina Investama Infonetは、保有株式の売却により持分比率が低下したため、持分法の適用の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
貯蔵品	1,252千円	1,481千円

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
	383,076千円	386,533千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
従業員給与	215,593千円	240,067千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
減価償却費	92,339千円	108,138千円
のれんの償却額	28,834	25,252

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2020年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	663,139	8.00	2020年3月31日	2020年6月1日

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	762,224	8.50	2021年3月31日	2021年6月1日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	677,756	1,129,241	1,806,997	-	1,806,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,998	18	6,016	△6,016	-
計	683,754	1,129,259	1,813,014	△6,016	1,806,997
セグメント利益	218,377	212,462	430,840	-	430,840

当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	554,936	1,432,481	1,987,417	-	1,987,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,712	18	14,731	△14,731	-
計	569,649	1,432,499	2,002,149	△14,731	1,987,417
セグメント利益	151,088	355,834	506,922	-	506,922

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する項)

(単位:千円)

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,813,014	2,002,149
セグメント間取引消去	△6,016	△14,731
四半期連結損益計算書の売上高	1,806,997	1,987,417

(単位:千円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	430,840	506,922
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	430,840	506,922

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円11銭	4円61銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	340,812	413,031
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額 (千円)	340,812	413,031
普通株式の期中平均株式数 (株)	82,892,430	89,673,430
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。